

# 企画提案用

## 令和3年度次世代ベンチャー創出支援事業 業務委託仕様書

### 1 事業の目的

県内大学等において、優秀な科学技術等を有しているにもかかわらず、ビジネスに関する知識や経験がないために、起業しない「起業無関心者」及び「起業希望者」に対し、技術シーズの掘り起こしから、ビジネスプランの策定、起業に至るまで、継続的な支援を実施することで、革新的なニュービジネスを展開する起業家や、大学発ベンチャーの創出を図る。

### 2 業務名

令和3年度次世代ベンチャー創出支援事業の実施に係る業務委託

### 3 支援対象者

県内大学等の研究者及び学生、県内企業 など

### 4 業務内容

#### (1) 技術シーズの発掘

- ① 県内大学等の研究者及び学生、県内企業等を対象に、本事業の趣旨や支援内容等に係る説明を行い、必要に応じて説明会を開催すること。
- ② 県内の大学や研究機関、企業等を適宜訪問し、電子メールやWEB会議等を利用した支援を行い、有望な技術シーズを発掘・育成すること。
- ③ 発掘・育成した技術シーズについて、専門的な知見による助言等が必要となる場合は、対応できる専門家を派遣し、適切に支援を実施すること。
- ④ 支援対象者に合った技術シーズの活用方法を検討し、起業に向けた支援に限らず、民間企業への技術移転や共同研究といった選択肢を含め、幅広い支援を行うこと。

#### (2) ビジネスプランコンテスト等への参加支援

- ① 発掘・育成した技術シーズを活用し、具体的な起業準備を行っている研究者等に対して、ビジネスプランコンテストへの参加支援を行うこと。
- ② 発掘・育成した技術シーズの活用を検討している研究者等に対しては、研究成果の発表を行うことができる発表会等への参加支援を行うこと。

(3) 勉強会の開催

起業予定者等を対象に、起業に必要となる一般的な知識（経営、財務等）を習得することができる勉強会を1回以上開催すること。

(4) ハンズオン支援

(1)～(3)の業務内容に加え、発掘した技術シーズを有効活用するために、以下のような支援を継続的に実施すること。

(支援の例)

- ・ 共同研究先の探索及び連携支援
- ・ 企業との事業連携に向けた支援
- ・ 試作品の製作支援
- ・ 助成金・研究開発費等の申請支援
- ・ 金融機関やベンチャーキャピタル等とのマッチング など

(5) 業務進捗会議の開催

技術シーズの発掘や、その後のハンズオン支援等に関する方針や進捗状況等について協議する場として、業務進捗会議を複数回開催すること。

(6) その他

発掘した技術シーズに対する手厚い支援を実施するために、本事業の趣旨に賛同する大学、金融機関、企業等に対し、技術シーズに関する情報提供などを行うこと。

## 5 業務の報告等

受託者は、委託業務の業務状況及び執行管理を明らかにするため、以下のとおり書類を県に提出しなければならない。

(1) 月次報告書の提出

技術シーズを発掘するために行った支援内容や大学等の訪問記録について、毎月、県に報告すること。（報告書の様式・記載事項については、今後県と協議するものとする。）

(2) 業務委託料変更届（別記様式第1）

当初の業務委託料の範囲内で業務委託料の変更が必要な場合は、業務委託料変更届を提出すること。

(3) 委託業務終了届（別記様式第2）

委託業務が終了したときは、遅滞なく、委託業務終了届を提出すること。

(4) 実績報告書（別記様式第3）

委託業務終了届の提出に当たっては、実績報告書のほか、発掘した技術シーズの情報や、支援内容、支援による成果等を確認できる成果報告書（任意様式）を添付すること。

## 6 その他

- (1) 契約に違反した場合や、悪意をもって目的が達成できない場合、目的を達成できない程度が甚だしい場合には、事業費の全部又は一部の返還を求める場合がある。
- (2) 受託者は、委託業務の実施に当たって、不明確な点や改善の必要があると認められる場合は、県と協議の上、業務を遂行すること。また、この仕様書に記載のない事項であっても、鹿児島県と協議して定めた事項についてはこれを遵守し、業務を遂行すること

問合せ先

鹿児島県商工労働水産部 産業立地課 新産業創出室

TEL : 099-286-2964 FAX : 099-286-5578

mail : [shin-sousyutsu@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:shin-sousyutsu@pref.kagoshima.lg.jp)